

「チョーク一本で教育改革」をテーマに
5月26日(日)第17回全国模擬授業大会が開催される〈開倫塾主催〉

開倫塾
塾長 林明夫

Q：開倫塾では、今年も5月の最終日曜日5月26日に、JR足利駅前の白鷗大学足利高校をお借りし、第17回全国模擬授業大会を開催したそうですね。この全国模擬授業大会とは何ですか。開倫塾では、何のために毎年この大会を開催しているのですか。

A：(1)この「全国模擬授業大会」というのは、各教科の授業で最も難しいといわれる「授業の導入部」についての「教え方」を競う全国大会です。

(2)時間は15分間。予め示された「テーマ」について「レッスンプラン(教案)」や「板書例」に基づいて、「チョーク」のみを用いて最も優れた「教え方日本一」を競い合うものです。

(3)「授業の設計図」である「レッスンプラン」と「板書例」を練りに練って、わかりやすくものごとの本質的理解に迫る授業を展開。受講者が「深い理解」、つまり「自分のことばでいえる・説明できる」ことを目指します。

(4)「目的(ゴール)」は「チョーク一本で教育改革」です。すべての教科で一番大切な「授業の導入部門」の教え方を競い合うことで、「効果の上がる教え方」を参加者同士が共有し、自らの「教える力を向上」させることが、受講者の学力向上につながります。

(5)全国の学習塾、予備校、学校の先生方が自分の授業の質を向上させることで、受講者の学力が向上。多様な選択肢のある人生(人生の成功)と、正常に機能する社会の形成(地域の教育力向上)につながります。「チョーク一本で教育改革」とはそのような意味です。

(6)出演するすべての先生方の「先生としての力量向上」と、授業を参観するすべての先生方との秀れた教え方の共有で、学習塾、予備校、学校の指導力向上を目指すのが、全国模擬授業大会です。

(7)審査には、各教科3～4名、合計27名の審査員の先生と、35名の学生審査員の高校生があたりました。(審査員長は、私塾ネット理事長でLAPIS 鎌ヶ谷代表の田中宏道先生、名誉審査員長は、一般社団法人みらい教育総研代表理事小川英範先生。)

Q：今年の結果はどうでしたか。

A：(1)総合優勝は千葉県アガトスの片岡秀樹先生(中学社会、鎌倉仏教)、団体優勝は愛知県野田塾、私が教わりたい先生・特別賞は開倫塾磯貝直希先生(中学1年国語、部首が見分けられる)でした。

(2)総合優勝の片岡先生は、昨年10月の野田塾様主催「全国模擬授業大会 in 名古屋」では「国語、中学生、俳句」でご出場。圧倒的とも誰もが思う俳句に対する知識と熱情で、参加者の「感動」と「深い理解」に導きました。今回の中学社会、鎌倉仏教も、昨年秋の「俳句」を

思い起こさせる素晴らしい授業でした。

(3)一昨年、野田塾様主催全国模擬授業大会 in 名古屋で野田塾の大ベテラン奥村孝司先生が中学英語で大感動を呼ぶ授業を展開、総合優勝を果たして以来、全国の大ベテランの先生方が「奮起」。文字通り新人・中堅・ベテランの「我こそは」と思う先生方の「ガチンコ勝負」の場に「全国模擬授業大会」が「一変」「変身」を遂げました。

Q：毎年開かれる全国模擬授業大会は、5月の開倫塾主催と10月の野田塾様主催と2つあるのですね。

A：(1)この2つのほかに、各塾団体様や各大手・中堅塾様が独自に開催なさっておられます。素晴らしい活動であると高く評価させていただいています。

(2)全国学習塾協同組合では、毎年1月の「塾教育総合展」で、全国模擬授業大会で好成績を収められた先生方が、模擬授業をご披露くださっておられます。(2025年は1月10日(金)に東京都で開催のご予定です)

Q：全国模擬授業大会には誰でも参加できるのですか。

A：(1)はい、どなたでも参加できます。

(2)ただし、各学習塾、予備校・学校の代表としてご参加いただく場合には、1教科2名までとなっています。

(3)個人としてご参加は自由です。

(4)本年の野田塾様主催の全国模擬授業大会 in 名古屋は10月27日(日)。2025年度開倫塾第18回模擬授業大会は例年通り5月最終日曜日に開催させていただければと考えます。

(5)是非、今からご準備いただき、各塾代表、又は、個人としてご出場ください。なお、聴講も可能ですので、早目にお申し込みくださいますようお願いいたします。

Q：各学習塾、予備校・私立学校の幹部の先生方にお伝えしたいことは何ですか。

A：(1)毎年1回、開倫塾と野田塾様では、全国の学習塾、予備校・私立学校の発展を願い、全社一丸となって全国模擬授業大会を開催しています。

(2)是非、各塾・予備校・学校の団体代表の先生方のご出場を、お待ち申し上げます。又、ご見学にお出かけくださいますよう、お願い申し上げます。

(3)更には是非、ご自身の団体で模擬授業大会を企画・運営し、すべての先生方の「レベルアップ」をお図りいただきたくお願いいたします。

(4)ちなみに、開倫塾では「自分なりの教え方日本一を目指そう」を「合言葉」としています。ご参考までに。

Q：最後に、今月も先生方お読みになれば必ず参考になる本を何冊か紹介させていただきます。

A：(1)一冊目は、神田外語大学特任教授、黒田龍之助著「ロシア語だけの青春」ちくま文庫、筑摩書房2023年6月10日刊です。高校時代から通い詰めたミール・ロシア語研究所での「発音と暗唱」が中心のロシア語教育の方法・成果が手に取るようにわかります。学習塾、予備校・学校で英語を担当するすべての先生方に参考となる「発音・暗唱」指導が具体的に学べます。

- (2)二冊目は、J.S.ミル著「大学教育について」岩波文庫、岩波書店 2011 年 7 月 15 日刊です。1 年間かけて書き上げたセント・アンドルーズ大学名誉学長就任講演の原稿。専門知識をよりよく使うための一般教養教育の重要性をわかりやすく説明。現代日本で「一般教養教育」の前提となる「基礎知識」は中学・高校生の学習内容と考えられますので、中学・高校の内容を教える学習塾、予備校・学校の先生方は、同著「功利主義」岩波文庫 2021 年 5 月 14 日刊とともに読みください。
- (3)三冊目は、スペインの哲学者 J. オルテガ・イ・ガセット著「大学の使命」玉川大学出版部 1996 年 12 月 25 日刊です。J.S.ミル著「大学教育について」と合わせて読むと、より強烈に「なぜ大学が存在するのか」「大学の役割とは何か」「大学で学ぶべきことは何か」がわかってきます。同著「大衆の反逆」岩波文庫や、同著「個人と社会、人と人びと」白水社 2004 年 6 月 1 日刊とともに読みください。
- (4)四冊目、今月のシェイクスピアは、シェイクスピア著、松岡和子訳「ペリクリーズ」ちくま文庫、筑摩書房 2003 年 2 月 10 日刊です。
- (5)五冊目は、スペイン、現代文学の巨匠、カルロス・ルイス・サフォン(1964 ~ 2020)の最新日本語訳「マリーナ、バルセロナの亡霊たち」集英社文庫、集英社 2024 年 3 月 25 日刊です。
- スペイン バルセロナを舞台にしたサフォンの「風の影」「天使のゲーム」「天国の囚人」「精霊たちの迷宮」と本書「マリーナ」は、いずれもスペイン在住、木村裕美氏の渾身の日本語翻訳で日本に伝えられています。「日本語の訳文は、人生の冒険を生き続ける読者のあなたへ」が木村氏からのメッセージです。是非、御一読を。
- (6)六冊目は、NHK 大河ドラマ「光る君へ」で平安時代への興味が深まった先生方へのおすすめは唯一つ。今こそ「枕草子」の全巻読破です。手持ちの石田穰二訳注「新版 枕草子(上)(下)現代語訳付き」角川ソフィア文庫、角川書店 1979 年 8 月 20 日刊はじめ、数多くの文庫で出版されています。NHK「大河ドラマ」をきっかけに、日本の古典の代表作「枕草子」にチャレンジを！

— 2024 年 5 月 31 日記 —